

Nexus Data Broker 3.0 のハードウェア/ソフトウェアの相互運用性マトリクス

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[マトリクス](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は推奨される Cisco Nexus オペレーティング システム (NX-OS) と共に Cisco Nexus Data Broker (NDB) のためのサポートされた ハードウェア および ソフトウェア必要条件を 3.0.0 記述したものです。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は NDB 2.0.0 ~ 3.0.0 のために有効、3.0.0 現在で NDB で利用可能なすべてのハードウェア/ソフトウェア/コンフィギュレーションモードの含むように意図されている行列に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

NDB は従来の転送方式に基づいてよりもむしろポリシーに基づいてトラフィックを転送するのにデータセンタ クラス スイッチを-メディア アクセス制御 (MAC) アドレス切り替え利用します。その結果、NDB がスイッチにプッシュする特別な構成が正しく機能するようにするための特定の構成が必要になります。NDB がサポートする幅広い種類のスイッチの中でも、特定用途向け集積回路 (ASIC) にはさまざまな種類があります。このため、解決済みの問題や機能に応

じて、ソフトウェアの推奨バージョンや最小バージョンが異なる場合があります。

マトリクス

Nexus スイッチ モデル	実装 タイプ	最小 NX-OS バージョン ¹	推奨される NX-OS バージョン ¹	OpenFlow エージェント	最小 NDB バージョン
30xx/31xx ²	OpenFlow	6.0(2)U6(x)	6.0(2)U6(3)	1.1.5	2.0.0
30xx/31xx ²	OpenFlow	7.0(3)I2(2a)	7.0(3)I2(2a)	2.1.0 または 2.1.3	2.2.0
30xx	NXAPI	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
31xx ²	NXAPI	7.0(3)I2(2a)	7.0(3)I2(2a)	該当なし	2.2.0
3164	OpenFlow	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
3164	NXAPI	7.0(3)I2(2a)	7.0(3)I2(2a)	該当なし	2.2.0
32xx	OpenFlow	7.0(3)I3(1)	7.0(3)I3(1)	2.1.3	3.0.0
32xx	NXAPI	7.0(3)I3(1)	7.0(3)I3(1)	該当なし	3.0.0
35xx	OpenFlow	6.0(2)A6(x)	6.0(2)A6(5a)	1.1.5	2.0.0
35xx	NXAPI	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
93xx	OpenFlow	7.0(3)I3(1)	7.0(3)I4(6)	2.1.0 または 2.1.3	2.2.0
93xx	NXAPI	7.0(3)I3(1)	7.0(3)I4(6)	該当なし	2.1.0
95xx	OpenFlow	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外	サポート対象外
95xx	NXAPI	7.0(3)I1(2)	7.0(3)I2(2a)	該当なし	2.1.0

¹ 最小/推奨バージョンは NDB のインストールにのみ適用され、一般的な NX-OS スイッチの使用に関しては適用されません。

² 30xx/31xx は、別に記載されている Nexus 3164 を除くすべての Nexus 30xx または Nexus 31xx スイッチを指します。

関連情報

- [NDB 設定ガイド](#)
- [NDB クイックスタート ガイド](#)
- [NDB ソフトウェアのダウンロード ページ](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)